

平成 25 年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って平成 25 年度も、細胞科学分野における研究助成 10 件、国内若手研究者の育成助成として国内外への留学 5 件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘および海外派遣 5 件を実施した。

平成 26 年度の各種助成のために、それぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成 72 件、育成助成 6 件、国際交流助成 10 件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、平成 26 年度助成対象者を選出した。

また、平成 23 年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 平成 25 年度助成金の交付

平成 25 年度各種助成については、研究助成 10 件、育成助成 6 件および国際交流助成 5 件が平成 25 年 3 月 1 日開催の平成 24 年度第 4 回理事会において議決承認された。その後 育成助成 1 件の辞退があったため、研究助成 10 件（1 件 300 万円、総額 3,000 万円）、育成助成 5 件（1 件 120 万円、総額 600 万円）および国際交流助成 5 件（1 件 28～40 万円、総額 188 万円）のそれぞれに助成金を交付した。

〔資料 1〕

2. 平成 25 年度研究助成金贈呈式開催

平成 25 年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

開催日時：平成 25 年 6 月 1 日（土）午後 3 時より

場 所：第一ホテル東京（東京都港区新橋一丁目 2 番 6 号）

3. 第一回塩野賞贈呈式および記念講演会開催

平成 25 年 3 月 1 日開催の平成 24 年度第 4 回理事会において決議された第一回塩野賞受賞者 東京大学大学院医学系研究科教授 間野博行博士に対して、平成 25 年 6

月1日(土)午後4時より第一ホテル東京(東京、新橋)にて第一回塩野賞贈呈式を開催し、塩野賞(賞状、金メダル、副賞1,000万円)を贈呈した。

また、間野博行博士による受賞記念講演会を同会場で開催した。

演題：肺がん原因遺伝子 EML4-ALK の発見と臨床への応用

4. 平成26年度助成事業

(1) 各種助成の募集の細目

平成25年4月25日開催の企画委員会での検討を経て、平成25年5月15日の第1回理事会(書面決議)で以下のように決定した。

研究助成

募集テーマ：①自己免疫疾患：病態と治療

②加齢医学

応募受付期間：平成25年9月2日から平成25年9月30日まで

専門委員：テーマ① 小安 重夫(独立行政法人理化学研究所 統合生命医科学研究センター センター長代行)

山本 一彦(東京大学大学院医学系研究科教授)

テーマ② 石川 冬木(京都大学大学院生命科学研究科教授)

横手 幸太郎(千葉大学大学院医学研究院教授)

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：平成25年9月2日から平成25年10月31日まで

[資料2]

(2) 募集

研究助成

全国の国公立私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設160余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計72件(テーマ①：37件、テーマ②：35件)であった。

育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は6件(海外5件、国内1件)であった。

国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は10件（招聘7件、海外派遣3件）であった。

(3) 選考

研究助成：三段階方式による選考

- 一. 平成25年10月30日～11月30日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として19件（テーマ①：9件、テーマ②：10件）に絞られた。
- 二. 平成25年12月10日～平成26年1月10日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
- 三. 平成26年1月29日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

- 一. 平成25年12月10日～平成26年1月10日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
- 二. 平成26年1月29日：本審査（以下の通り）

平成26年1月29日：本審査

開催日時：平成26年1月29日（水）午後6時より

場 所：東京ジョンブル（東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル）

選考委員および専門委員により平成26年度各種助成交付対象者（研究助成10件、1件300万円総額3,000万円、育成助成5件、1件120万円総額600万円および国際交流助成7件、1件20～50万円総額319万円）が選出され、理事長に答申された。平成26年2月26日に開催された第3回理事会において、原案通り議決承認された。

〔資料3〕

5. 助成研究報告集等

平成23年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、細胞科学研究財団助成研究報告集第24巻（2013）を平成25年10月1日に発刊し、全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

また、財団年報第25号（平成24年度）を平成25年8月1日に発刊し、上述の施

設へ送付した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、平成25年5月15日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 平成24年度事業報告および平成24年度財務諸表について：原案通り承認可決された。

第2号議題 平成26年度各種助成募集について：原案通り承認可決された。

第3号議題 定時評議員会開催とその目的である事項について：原案通り承認可決された。

2. 定時評議員会

開催日時：平成25年6月1日（土）午後2時より

場 所：第一ホテル東京（東京都港区新橋一丁目2番6号）

第1号議題 議長選任について：互選により前田孝氏が評議員会議長に選任された。

第2号議題 平成24年度事業報告および平成24年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 基本財産について：原案通り承認可決された。

第4号議題 議事録署名人選任について：議長のほか互選により大谷光昭氏および近藤裕郷氏が選任された。

報告事項 平成26年度各種助成募集について：平成25年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

3. 第2回理事会

開催日時：平成25年6月1日（土）午後2時30分より

場 所：第一ホテル東京（東京都港区新橋一丁目2番6号）

第1号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告:理事長及び常務理事は平成25年3月1日以降の業務執行状況報告を行った。

4. 第3回理事会

開催日時:平成26年2月26日(水)午後5時より

場 所:塩野義製薬株式会社東京支店4階(東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号)

第1号議題 平成26年度事業計画の件:原案通り承認可決された。

第2号議題 平成26年度収支予算の件:原案通り承認可決された。

第3号議題 平成26年度助成対象者の件:原案通り承認可決された。

第4号議題 平成26年度選考委員任期満了に伴う改選の件:原案通り承認可決された。

第5号議題 役員等の定年および名誉理事の件:原案通り承認可決された。

報告事項1 透明性ガイドライン対応への同意:理事長は、塩野義製薬が製薬協の透明性ガイドラインに対応して財団への寄付に関して公開すること、また、これに対する同意書を提出することを報告し全員の同意を得た。

報告事項2 理事長及び常務理事の業務執行状況報告:理事長及び常務理事は平成25年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

5. その他

平成25年6月26日 内閣府に平成24年度事業報告書等の定期提出書類をWeb提出した。

平成26年3月24日 内閣府に平成26年度事業計画および予算の定期提出書類をWeb提出した。

IV. 添付資料

[資料1] 平成25年度各種助成金受領者名簿

[資料2] 平成26年度各種助成募集要項

[資料3] 平成26年度各種助成金交付者名簿

以上

平成 25 年度 研究助成金受領者
(第 4 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 間葉系幹細胞・基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
齋藤 敦 サイトウ アツシ	広島大学大学院医歯薬保健 学研究院分子細胞情報学・ 助教	間葉系幹細胞から骨・軟骨細胞への分化にお ける小胞体ストレス応答の役割
福嶋 五月 フクシマ サツキ	大阪大学大学院医学系研究 科心臓血管外科・助教	間葉系幹細胞による同種 iPS 細胞由来心筋 細胞移植治療における免疫寛容誘導法の開 発
前田 真吾 マエダ シンゴ	鹿児島大学大学院医歯学総 合研究科医療関節材料開発 講座・特任准教授	間葉系幹細胞からの骨芽細胞・脂肪細胞・軟 骨細胞の分化選別におけるインプリンティ ング遺伝子 Peg10 の役割の解明
升田 博隆 マシダ ヒロタカ	慶應義塾大学医学部産婦人 科学教室・助教	子宮内膜間葉系幹細胞を通じた子宮内膜症 の解明と新規治療法の開発
三浦 康生 ミウラ ヤスオ	京都大学医学部附属病院輸 血細胞治療部・助教	間葉系幹細胞の異常病態の解明と治療標的 としての白血病制御に関する研究
山原 研一 ヤマハラ ケンイチ	独立行政法人国立循環器病 研究センター再生医療部・ 室長	卵膜由来間葉系幹細胞の免疫制御効果を利用 した細胞治療の早期臨床応用を目指した 研究

テーマ 2 : 認知症・基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
石浦 浩之 イシウラ ヒロユキ	東京大学医学部附属病院神 経内科・助教	アルツハイマー病罹患同胞対のエクソーム 解析による疾患関連遺伝子の同定
斉藤 貴志 サイトウ タカシ	理化学研究所脳科学総合研 究センター神経蛋白制御研 究チーム・副チームリーダー	アルツハイマー病の発症機構に関する研究
富田 泰輔 トミタ タイスケ	東京大学大学院薬学系研究 科臨床薬学教室・准教授	遺伝学的アルツハイマー病危険因子がもた らす分子病態の解明
羽田 沙緒里 ハタ サオリ	北海道大学大学院薬学研究 院神経科学研究室・助教	アルツハイマー病関連タンパク質のγセク レターゼ切断解析による発症機構の解明

平成 25 年度 育成助成金受領者
(第 4 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 5 件, 計 600 万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
梅原 敬弘 ウメハラ タカヒロ	長崎大学大学院医歯薬学 総合研究科・助教	創傷治癒・再生の分子メカニズム解明による創傷時期推定の法実務への応用 The University of Manchester, The Healing Foundation Centre
田中 太晶 タナカ タカキ	大阪大学大学院医学系研究科・大学院生	Molecular mechanism of breast cancer bone metastasis Invasion and Metastasis Unit, St. Vincent's Institute and University of Melbourne Department of Surgery
原園 陽介 ハラゾノ ヨウスケ	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・大学院生	新規癌幹細胞誘導因子の探索と PGI/AMF との関連 Barbara Ann Karmanos Cancer Institute, Wayne State University
宮崎 秀幹 ミヤザキ ヒデキ	東京大学大学院医学系研究科・大学院生	血管の周囲細胞による被覆における PDGFR β の腫瘍特異的な効果について / 血管内皮におけるインテグリン αv / NF κB シグナルと他シグナルの相互作用について Lund University

(国内)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
森本 亮 モリモト リョウ	東京大学大学院医学系研究科・大学院生	血小板活性化因子合成酵素活性化に至る細胞内シグナリングの解析 国立国際医療研究センター

平成 25 年度 国際交流助成金受領者
(第 4 回理事会において議決)

(1 件 28～40 万円 5 件, 計 188 万円)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 (期間・開催地)
風間 逸郎 かま いたろう	東北大学大学院医学系研究 科細胞生理学分野	American Society of Nephrology Kidney Week 2013 (2013 年度アメリカ腎臓学会) 2013 年 11 月 5 日～10 日 Atlanta (米国、ジョージア州)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 (期間・開催地)
糸原 重美 (独)理化学研究 所脳科学総合研究 センター)	Fred H.Gage Salk Institute for Biological Studies	Neuro2013 (日本神経科学学会、日本神経化学会 および日本神経回路学会合同大会) 2013 年 6 月 20 日～23 日 京都府京都市
小安 重夫 (慶應義塾大学医 学部)	Ellis L. Reinherz ハーバード医科大学	6th International Workshops of Kyoto T Cell Conference (第 6 回国際京都 T 細胞カンファレン ス (KTCC2013)) 2013 年 6 月 3 日～7 日 京都府京都市
清野 宏 (東京大学医科学 研究所)	Gerard Eberl Institut Pasteur	第 42 回日本免疫学会学術集会 2013 年 12 月 11 日～13 日 千葉県千葉市
宮園 浩平 (東京大学大学院 医学系研究科分子 病理学分野)	Rik Derynck カリフォルニア大学サンフ ランシスコ校	第 86 回日本生化学会大会 2013 年 9 月 10 日～14 日 神奈川県横浜市

公益財団法人細胞科学研究財団

平成26年度研究助成募集要項

1. 研究助成の対象となるテーマ：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。

但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。

①「自己免疫疾患：病態と治療」

②「加齢医学」

2. 助成金額：

300万円／1件

採択件数：

10件以内

3. 応募資格：

国内の研究機関等に所属する応募時満45才未満の独立した研究者
(大型研究費を受けておられる方はご遠慮下さい)

4. 応募方法：

(1) 所定の用紙(申請書および推薦状)をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。

(2) 必ず、所属機関の長(学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等)あるいは所属部門の長(教授、部長、専攻長等)の推薦を得て下さい。

推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に限り推薦できます。

(3) 申請書に必要事項を記入し、推薦状と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。

(4) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

5. 応募受付期間：

平成25年9月2日(月)より **9月30日(月)** 必着

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および助成金の交付について：

採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。

助成金は平成26年4月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪府中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139

FAX：06-6202-1996

URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成26年度育成助成募集要項

1. 育成助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。
 - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 応募時の年齢が満35才以下の研究者
(同一の研究において他財団との助成金の重複を認めません)
 - ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(平成26年4月以降平成27年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限りませ)
 - ニ. 留学先および留学期日の変更は認められません。改めて申請して下さい。
2. 給付金額： 1件120万円/年
採択件数： 6件程度
3. 給付期間： 1年間
4. 応募方法：
 - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
 - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
 - (3) 受け付け後、直ちに申請者へ e-mail にて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
5. 応募受付期間： 平成25年9月2日(月)より **10月31日(木)** 必着
6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務： 収支報告および留学報告書を提出していただきます。
8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および助成金の交付について：
採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。
助成金は平成26年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先：公益財団法人細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

平成26年度国際交流助成募集要項

1. 国際交流助成対象者： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者いたします。
 - イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - ハ. 年度内(平成26年4月以降平成27年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者

ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものいたします。
2. 助成金額： 20～50万円／1件
採択件数： 4件程度
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額のおおまかな内訳をご記入下さい)
3. 応募方法：
 - (1) 所定の用紙をホームページからダウンロードしていただくか、あるいは下記の連絡先にご請求下さい。
 - (2) 申請書に必要事項を記入し、推薦状の他必要書類と共に下記の連絡先まで郵送して下さい。
 - (3) 受け付け後、直ちに申請者へe-mailにて返信しておりますが、投函後一週間を経てもそれが届かない場合には、下記の連絡先にお問い合わせ下さい。
4. 応募受付期間： 平成25年9月2日(月)より **10月31日(木)** 必着
5. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
6. 報告義務： 収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。
7. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
8. 採否通知および助成金の交付について：

採否は決定後直ちに申請者へお知らせいたします。
助成金は平成26年4月以降に贈呈いたします。
9. 連絡先：

公益財団法人細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139
FAX：06-6202-1996
URL：<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

平成 26 年度 研究助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

テーマ 1 : 自己免疫疾患 : 病態と治療

研究者	所属機関・職名	研究題目
河合 太郎 カワイ タロウ	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科分子 免疫制御研究室・准教授	自己免疫疾患発症に関わる自然免疫核酸 センサーシグナル制御機構の解明
地主 将久 ジヌシ マサヒサ	北海道大学遺伝子病制御研究所・ 附属感染癌研究センター・准教授	自然免疫応答修飾を指標とした SLE の新 たな診断・治療戦略の構築
華山 力成 ハヤマ リキリ	大阪大学免疫学フロンティア研究 センター 免疫ネットワーク研究 室・特任准教授	臓器特異的自己免疫疾患の発症機構の解 明
藤尾 圭志 フジオ ケイシ	東京大学医学部附属病院 アレル ギー・リウマチ内科・講師	ヒト自己免疫疾患における新規制御性 T 細胞を含む免疫系細胞の動態と腸内細菌 叢の関連解析
堀 昌平 ホリ ショウヘイ	独立行政法人理化学研究所 統合 生命医科学研究センター 免疫恒 常性研究チーム・チームリーダー	組織における制御性 T 細胞の適応破綻に よる自己免疫疾患の発症とその制御

テーマ 2 : 加齢医学

研究者	所属機関・職名	研究題目
内藤 篤彦 ナイトウ アツヒコ	東京大学大学院医学系研究科・ 肺高血圧先進医療研究学・特任 助教	不全心で認められる DNA 一本鎖切断が心 不全発症の病態生理において果たす役割 の解明
服部 奈緒子 ハトリ ナホ	独立行政法人国立がん研究セン ター研究所 エピゲノム解析分 野・研究員	老化細胞で観察される可塑的なエピゲノ ムの意義の解明
廣田 泰 ヒロタ ヤスシ	東京大学医学部附属病院 女性 診療科・産科・研究員	老化細胞の生理的調節・除去機構とその 破綻による加齢関連疾患の病態形成に関 する研究
山口 賀章 ヤマグチ ヨシアキ	京都大学大学院薬学研究科 シ ステムバイオロジー分野・助教	加齢による時差症状亢進の分子・細胞機 構の解明とその治療薬の開発
湯浅 慎介 ユアサ シンスケ	慶應義塾大学医学部循環器内科・ 講師	110 歳超長寿者 iPS 細胞を用いた疾患抵 抗性分子機序の解明

平成 26 年度 育成助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 120 万円 5 件, 600 万円)

(国内)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
城(渡辺) 愛理 ジョウ(ワタベ)アサ	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科・病院診療 医	細胞膜型エストロゲン受容体 GPR30 の局在 と機能の解明による性差医療の基盤構築 順天堂大学大学院医学研究科 生化学第一 講座

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
大畑 慎也 オハタ シヤ	カリフォルニア大学サン フランシスコ校・博士研究 員	脳室の壁を構成する上皮細胞の細胞平面極 性獲得・維持機構の解明 カリフォルニア大学サンフランシスコ校
瀧本 晃陽 タキモ コウヨウ	東京医科歯科大学歯学部附 属病院・むし歯外来(歯髄生 物学分野)・医員	歯髄再生療法の確立による歯科保存治療の パラダイム・シフト テキサス大学サンアントニオ校ヘルスサイ エンスセンター
田中 晃司 タナカ コウジ	大阪大学大学院医学系研究 科 外科系臨床医学専攻 外科学講座消化器外科学・大 学院生	N o t c h 信号伝達系による食道癌幹細胞 の制御と分子標的薬の探索 University of Pennsylvania Perelman School of Medicine
若松 透 ワカマツ トオル	大阪府立成人病センター研 究所生物学部門・研修生	悪性腫瘍における TFE3 融合遺伝子の機能解 析 スローンケタリング記念癌センター

平成 26 年度 国際交流助成金受領者
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 20～50 万円 7 件, 319 万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
寒川 賢治 国立循環器病研究 センター研究所	Michaela Kuhn University of Wuerzburg	International conference on Cell- Cell Communication 2014 2014 年 9 月 10 日～9 月 12 日 京都府京都市
斎藤 泉 東京大学医科学研 究所 遺伝子解析 施設	Reiner Brentjen Memorial Sloan Kettering Cancer Center	日本遺伝子治療学会 2014 年 8 月 6 日～8 月 8 日 東京
高橋 良輔 京都大学大学院医 学研究科臨床神経 学 (神経内科)	Karl Deisseroth Howard Hughes Medical Institute, Stanford University	第 37 回日本神経科学大会 2014 年 9 月 11 日～9 月 13 日 パシフィコ横浜
湊 長博 京都大学大学院医 学研究科	Hans-Reimer Rodewald Division for Cellular Immunology, German Cancer Research Center	第 43 回日本免疫学会学術集会 2014 年 12 月 10 日～12 月 12 日 京都市 (国立京都国際会館)
宮園 浩平 東京大学大学院医 学系研究科分子病 理学分野	Daniel Rifkin New York University School of Medicine	第 18 回国際血管生物学会 (International Vascular Biology Meeting 2014) 2014 年 4 月 14 日～4 月 17 日 みやこめっせ (京都府京都市左京区岡崎 成勝寺町 9- 1)
米田 悦啓 独立行政法人医薬 基盤研究所	Mark E Flanagan Pfizer Inc.	第 87 回日本生化学会大会 2014 年 10 月 15 日～10 月 18 日 国立京都国際会館 (京都市左京区岩倉大 鷲町 422 番地)

(海外派遣)

研究者名	所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
戸田 智久 トダ トモヒサ	東京大学 医学部附属病院 神経内科	Salk Institute for Biological Studies との共同研究 2014 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日 アメリカ合衆国 サンディエゴ

前記のとおりご報告いたします。

平成 26 年 6 月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩 野 元 三